

平成 27 年 5 月 29 日  
第 12 回策定委員会資料

## 道路管理水準について

## 1. 現状の道路管理

## (1) 道路管理延長及び面積

|                      | 市道（認定外含む） |     | 私道  |    | 合計        |
|----------------------|-----------|-----|-----|----|-----------|
|                      | 車道        | 歩道  | 車道  | 歩道 |           |
| 延長(km)               | 143       | 50  | 88  | 1  | 231(※車道計) |
| 面積(km <sup>2</sup> ) | 881       | 125 | 348 | 2  | 1,356     |

## (2) 道路施設

舗装（車道・歩道）、橋梁、街路灯、標識、擁壁、側溝、防護柵、ベンチ・・・等

## (3) 道路管理水準

## ① 事業費比較

(円/m<sup>2</sup>)

| 項目 \ 年度  | H21   | H22   | H23   | H24   | H25   | 5 か年平均 | 備考          |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| 武蔵野市     | 883   | 829   | 937   | 791   | 732   | 835    | 私道等を含む      |
| 三鷹市      | 1,059 | 987   | 837   | 717   | 725   | 865    | 市道のみ        |
| 府中市      | 803   | 634   | 939   | 751   | 690   | 763    | 市道のみ        |
| 都 23 区平均 | 1,211 | 1,100 | 1,049 | 1,000 | 1,018 | 1,076  | 区道のみ        |
| 都 26 市平均 | 611   | 590   | 529   | 516   | 537   | 557    | 武蔵野市の私道等を含む |

道路事業費の算出式：道路橋梁費（普通会計）／道路面積

※道路事業費：総務省 HP 公表の市町村別決算状況調の道路橋梁費を採用。

道路橋梁費は人件費を含む。なお、都市計画道路の事業費は含まない。

※道路面積：東京都道路現況調書及び武蔵野市市勢統計の公表値を採用。

武蔵野市のみ、認定外及び私道を含んで面積である。

※上記金額は公表されているデータより、各自治体等の道路橋梁費に関する事業単価を算出したものであり、相対的に比較するために算出した参考値である。

## ② 武蔵野市の道路管理水準について（考察）

- ・事業費単価は 26 市平均と比較して高い傾向にあるが、近隣自治体とは同等程度である。
  - 道路用地の価格や整備水準（インターロッキングブロックや透水性舗装）の高さが影響。
  - 区部並みとまでは言えないが、駅周辺や景観的な整備を推進した路線では、高価な材料を採用しているため、それらの維持管理にも費用を要する。
  - 各道路施設について、明確な管理基準がなく、効率的な投資が行えているとは言えない状況。（現在、各施設の管理基準を定めた道路管理計画の策定に向け検討を開始。）
- ・私道を含め、他自治体と同等以上の舗装の質を維持。
  - 私道を含めた管理道路の質の高さが、市内道路の水準が高い印象を与えていると推察。

## 2. 長期計画における記載及びその後の経過

### 【第四期長期計画（H17～26 年度）】

明確な記載なし

### 【第四期長期計画・調整計画（H20～24 年度）】

上・下水道、道路及び公共建築物など多くの社会資本整備を早期に達成した。今日、耐震補強や保全整備を着実に実施し、耐用年数の延伸への努力を行う。

### 【第五期長期計画（H24～33 年度）】

老朽化が進む都市基盤については、施設の運用管理を徹底することで長寿命化を図り、施設の質の維持に努める。また、更新に要する財政負担については、世代間の公平性の観点も考慮し、事業費の軽減と平準化を図っていく。

### 【現在の動き】

H29 年度以降の道路管理計画の策定に向け、H27・H28 年度の 2 か年で、財政シミュレーションと共に道路管理水準の方向性を検討するための基礎調査を実施。

## 3. 討議要綱における意見

中長期的な財政状況を踏まえた整備や維持管理のあり方の基本的な方向性は、調整計画の中で示すべきでは。適正な水準のイメージを具体的に説明して欲しい。（パブリックコメント）

## 4. 市の方向性（市議会における市長答弁）

<平成 26 年第 2 回定例会（6 月 12 日）>

議員：ほかの自治体と比較してインフラの維持管理コストが適正なのか。

市長：単純にほかの自治体との面積あたりの補修費の比較をすることは、現状ではなかなか難しい状況である。今後も汎用性や経済性などを考慮し、コスト面にも配慮した維持管理について検討を重ねていきたいと考えている。